

令和4年度 学校だより

令和5年2月2日発行



大枝中学校通信



生徒集会「集まれ大枝中の生徒たち」始業式

1月5日金曜日、令和4年度3学期がスタートしました。

3学期も始まりは「生徒集会」からでした。

生徒会本部役員一人ひとりより今年に懸ける意気込みを語ってくれました。

その後は、昨年に続きズームで「百人一首」で盛り上りました。



表彰は 3年Sさん「税についての作文」優秀賞

吹奏楽部 「第55回京都府アンサンブルコンテスト」銀賞

おめでとうございます！

今年もたくさん表彰紹介ができるのを楽しみにしています。

3年生本番さながらの「面接練習」

12日(木)5・6限に、3年生の「面接練習」を実施しました。

他学年の先生方が面接官となり、個人面接・集団面接と本試験さながらに模擬面接を行いました。



待機している生徒は緊張しながらも、練習を積んできた作法や予想される回答についてイメージ練習を繰り返し行っていました。

面接が終わると面接官役の先生から丁寧に「振り返り」をしていただきました。



「思うような言葉や文章が出てこなかった。考えてなかつた質問をされて困った。緊張し過ぎて真っ白になってしまった。動きがぎこちなくなってしまったなど課題が残った、反省するところが多かった。」という生徒は、試験当日までに万全の準備をしておくよう努めて下さい。

何度も繰り返し、経験を重ねることが今一番必要かもしれません。



一部ではすでに終わったという人もいますが、多くのさんはいよいよこれから本番を迎えます。京阪神の私立高校等は2月10日(金)・11日(祝)から、公立の前期選抜は16日(木)・17日(金)に行われます。当日に自分の持っている力が目一杯発揮できるように準備してください。

1・2年生の皆さんも来年・再来年はあなたの番です。

今から準備をしておくことが大切です。



避難訓練「阪神・淡路大震災発生から28年」

1月13日金曜日に今年度3回目の「避難訓練」を行いました。

今回の訓練は地震と土砂災害が発生したと想定して実施しました。

大枝中学校の生徒は、毎回非常に素早い避難行動がとれる状態にあると判断をします。災害はいつ発生するかはわかりません。

教室にいる時、先生がいる時、みんなが集まっている時とは限りません。わかつっていたから「できた」ではなく、いつ発生しても全員が落ち着いた確実な行動がとれなくてはいけません。

「命」を守りきるのに「まあまあ良かった」「これぐらいやつたらたぶん大丈夫やろ」といった評価ではダメなのです。

さて、阪神・淡路大震災は28年前の1995年(平成7年)1月17日午前5時46分に発生し、淡路島北部を震源としてマグニチュード7.3震度7の大地震が近畿を襲いました。兵庫県を中心に大阪府、京都府も甚大な被害を受けました。

この地震で6343名の尊い命が奪われ、5万人を超える負傷者がありました。



京都市でも震度5強の激しい揺れが40秒ぐらい続きました。

28年が経ったいまもなお、あの日のことは忘れることができません。



また2011年(平成23年)3月11日にはこれまでの最大規模であるマグニチュード9.0の東日本大震災が発生しました。この地震では、10メートルを超える津波が襲い、18428名が犠牲になりました。

大枝中学校では、毎年阪神淡路大震災が発生した1月17日前後に避難訓練をすることを基本としています。皆さんもどんなことがあっても「自分の命」を守りきる行動をとってください。

今回のみなさんの行動評価はどうでしたか。100点がつけられましたか。

1月24日夕方から降り出した「雪」はみるみるうちに積りはじめ、25日の朝には20cmを超える積雪となりました。10年に一度の寒波到来とニュースでも注意を呼び掛けられていましたが大枝中学校でも大きな影響がでてしまいました。

25日は2限からの授業開始となりました。

また、26日にはガス漏れが確認され、27日には配水管の破裂もあり工事が入りました。27日は臨時休校措置をとることとなりました。

30日の月曜日からは学校も再開し通常授業を行っていますが、生徒のみなさんには大変ご迷惑をかけてしまい申し訳ありませんでした。保護者のみなさまにもご心配をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。

加えて、多大なるご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。

再び、学校生活を軌道に戻し、充実した教育活動が実践できるよう努めてまいります。引き続き、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

